

第三回 留学レポート

鶴房 賢弥

1. 学習面について

すでに一月の後半に入り、留学生活の終盤に差し掛かってきました。これまでの留学生生活を報告したいと思います。秋学期はすでに終わってしまいましたが、初めに秋学期の期末テストについて述べたいと思います。基本的に日本の大学と大きな違いがあったとは感じてはいませんが、やはり Paper の大変さを痛感しました。言語が異なるという大きな壁ももちろんありましたが、良い paper を書くためにはたくさんの Research をし、その上で説得力のある文章構成や語彙、そして資料を考慮しなければなりません。私自身 writing の授業を通じて、英語で多くの paper を書くことができたという達成感を感じているものの、それ以上に読者を意識し、説得力のある paper を書くということを学べたと実感しています。なので、ぜひ writing の授業の受講をお勧めします。

2. 生活面について

春学期に入り、私はミールプランの購入をやめ、寮で自炊することになりました。寮には、共同のキッチンがあり、コンロなどが設備されているため、比較的困難なく料理をすることができています。個人的には、秋学期にミールプランを購入していて後悔はしていませんが、自炊をするよりもやはりコストがかかったと感じています。しかし、その分野菜などを簡単に食べることができるので、それぞれ利点と問題点はあると思います。また、私は12月上旬の期末テスト週間にインフルエンザにかかってしまうという不運な目に会いました。夜の9時に病院に行き、点滴や治療を受け、そして次の日の朝5時に Uber で寮に帰宅したことを今でも覚えています。しかし、その次の日が期末試験であったため、教授にメールをし、個人的にテストの日程を変更してもらいました。留学前は、もちろん病気にかかるはずないと思っていましたが、本当に何かあるかわかりませません。なので、保険などに加入をぜひして欲しいです。

3. その他

秋学期が終了し、冬休みが約3週間ありました。その期間を利用して、私はサンディエゴ・トロント・ニューヨークに旅行することができました。サンディエゴには、私の友達がいたので、彼に泊めてもらうことができ、ビーチなどカリフォルニアの雰囲気を楽しむことができました。そして、トロントではこれまで経験したことのない寒さを経験しましたが、ナイアガラの滝に行くことができました。カナダへの旅行は寒さを覚悟して行くことをお勧めします。最後に、ニューヨークではタイムズスクエアでカウントダウンを経験することができました。世界一のカウントダウンを味わうことができたのですが、12時間の待ち時間をマイナス10度の中耐え、今まで感じたことのない苦しい思いもしました。

上から、カナダのナイアガラの滝、サンディエゴのビーチ、ニューヨークのタイムズスクエアのカウントダウンの様子です。





